

教授候補者の募集について（お知らせ）

岩手大学農学部農学生命課程教授選考委員会
委員長 教授 武田純一

本課程では、下記募集要項により教授 1 名を広く公募します。
選考は本学の定める手続きにより行い、結果は応募者本人にお知らせします。

岩手大学農学部農学生命課程教授募集要項

1	職種・人員	教授 1名
2	所属・担当	学部は農学部農学生命課程に所属し、生物産業科学コース農業経営・経済学分野を担当して頂きます。大学院は農学研究科農学生命専攻に所属します。
3	教育研究分野・担当科目	教育研究専門分野：農業経営・経済学、特に農業経営学に関わる領域が望ましい。 主要担当科目 学 部：農業経営学、農業経済学、農業政策論、アグリビジネス論等のうち数科目 大学院：農業経営学特論、農業経済学特論のいずれか その他：全学共通教育科目・学部専門基礎科目の一部
4	応募資格	(1) 博士の学位を有する方。 (2) 当該専門分野において教授にふさわしい研究業績を有し、今後当該分野において新規性、独創性を持つ研究を展開できること。 (3) 学部生および大学院生に対する教育・研究指導を熱心に行えること。 (4) 課程および大学の運営に積極的に参加できること。 (5) 岩手大学が進める地域貢献活動（例えば、いわてアグリフロンティアスクール）に積極的に参加できること。
5	任用予定日	平成 23 年 3 月 1 日以降のできるだけ早い時期
6	提出書類	(1) 履歴書 1 通（写真貼付、署名、捺印のあるもの。市販の履歴書で可） (2) 研究業績目録 1 部（別紙作成要領を参照） (3) 主要論文別刷 5 編以内（コピー可） (4) これまでの研究概要および今後の教育・研究・地域貢献活動に対する抱負（2500 字程度） (5) 照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（住所、電話、E-mail）
7	公募締切日	平成 22 年 10 月 15 日（金）必着
8	応募書類提出先および問い合わせ先	提出先： 〒020-8550 盛岡市上田 3-18-8 岩手大学農学部農学生命課程 教授選考委員長 武田純一 (応募封筒には「農学生命課程教授 応募書類在中」と朱書きして、簡易書留で郵送して下さい。なお、応募書類は返却しませんが、返却希望の場合は切手を貼付した返却用封筒を同封して下さい。) 問い合わせ先： 電話・FAX 019-621-6186, E-mail jtakeda@iwate-u.ac.jp (問い合わせは、出来るだけ E-メールでお願いします。その場合、件名を【農学生命課程教授公募について】として下さい。)
9	面接	書類選考の後、応募者の来訪を求め、面接等を実施する場合があります（この場合の交通費等経費は自己負担となります）。
10	その他	(1) 農学生命課程のホームページ URL は下記の通りです。 http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/department2/agri/index.html (2) いわてアグリフロンティアスクールの URL は下記の通りです。 http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/iafs/ (3) 業績および資格に係わる評価が同等である場合には、男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性を優先的に採用します。

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌*¹、(b)紀要*²、(c)プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H.国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本語の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

*1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。

*2：試験場報告、研究所報告等を含む。

*3：商業雑誌、資料等を記載する。

*4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。

*5：最近5カ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）

*6：著者名にアンダーラインを付け、コレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションの場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。

*7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

*8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。

*9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。

*10：Journal は略記する。

*11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)

農学について. ○○出版社, 東京, 100p.

2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)

北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.

3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)

Agriculture in Japan, “Agricultural Sciences”(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press,London, pp.20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)

XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]

2. 岩手一郎 (1983)

ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)

岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J. Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)
Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)
イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)
岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.